

金沢21世紀美術館1月のプログラム

1
2014

2014年1月に実施される金沢21世紀美術館主催事業についてお知らせいたします。
各催しの告知ならびに当日のご取材など、ぜひ貴媒体にて報道して頂きたくお願い申し上げます。
各事業の詳細につきましては決まり次第随時お知らせいたします。

開催中の展覧会と関連イベント



柿沼康二 書の道 “ぱーっ”

開催中～
2014年3月2日(日)

柿沼康二は、1970年生まれ。現在東京を拠点に活躍する書家です。5歳から筆を持ち、父である柿沼翠流、手島右卿、上松一條に師事しました。「書はアートたるか、己はアーティストたるか」との命題を立て、既存の書に収まらない新たな書の地平に挑み続けてきました。

柿沼康二の作品の特徴は、書の古典に立脚した今日的な表現にあります。書の原理を問いつつ今日の美術として書を捉えていこうとしています。「吸って吐いて、自由な書！」とは、柿沼康二の目指す書の在り方です。表現スタイルには、いくつか代表的なものがあります。古人や能筆家との対話の場である臨書。臨書から形式発展させ、他者の言葉を柿沼流に作品化する「エンカウンター(出会うこと)」。書の原理である墨を使って絵画的に展開する超大型の作品群。あるいは、大型の作品での例が多い制作プロセスを観客と共有するパフォーマンス。ひとつの言葉にこだわり、それを執拗に繰り返す「トランスワーク」。書を時間的、空間的に発展させて、巨大なスケールで展開したインスタレーション。

このように、柿沼康二の書は、書、現代アート、サブカルチャーと関連して展開した今日的な表現です。それは、明日へと向かう希望の書であり、自由で、未来に向かって開かれた、可能性としての書です。本展では、代表作約700点で柿沼康二の書の世界を紹介します。



島袋道浩:能登

開催中～
2014年3月2日(日)

島袋道浩は、世界中を旅しながら、人間の生き方やコミュニケーションのあり方に関する作品を制作してきました。本企画は、能登特有の風習や産物に興味を持った島袋が、「メンバー」とともに能登を訪れ、アーティストならではの視点で発見したことを元に新作を作り上げる、1年間の長期プログラムです。金沢を中心とした若い人たちに芸術活動参加の機会を提供する「金沢若者夢チャレンジ・アートプログラム」の第7弾です。

9月28日より後期展示として、展示室13、長期インスタレーションルームにて能登の調査を経て作られた新作を公開しています。

※展示室13への入場には、当日の「コレクション展II」の観覧券が必要です。

●メンバー通信

11月よりメンバーの視点で能登の魅力を発信する、メンバー通信「能登へ」を発行。展示室13で配布中。

●柿づくり

11月23日から製作をはじめた、ころ柿づくり。11月23日に作家とメンバーが、能登の志賀町に干し柿づくりを習いに行き、それ以降3週間にわたって、市役所側入口脇の広場とプロジェクト工房にて柿を干していました。12月14日に干し柿を揉むという工程を経て12月17日に完成しました。

本資料に関する
お問い合わせ

金沢21世紀美術館 広報担当: 落合・中山
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
http://www.kanazawa21.jp
E-mail: press@kanazawa21.jp





ボーダーライン コレクション展Ⅱ

開催中～
2014年3月16日(日)

未知のものに出会うときに感じる違和感、不安、恐怖。それは、ある種の境界がそこにあることを感じ取っているサインです。私たちは共通の言語、身体的特徴、ルール、記憶を持つ人々を「内部」として、それに当てはまらない「外部」を知らず知らずのうちに区別し、内と外を分かち境界を形成しています。境界は安全な内部を脅かす存在として時に外部を排除し、軋轢を生み出すが、同時に、内部と外部が交渉しながら新しいルールを見つけ出し、絶えず更新される流動的なものでもあります。つまり、境界は内部を広げる可能性を秘めた領域であるということができるのではないのでしょうか。

今年度のコレクション展は、このような視点に立って、境界を「分断するもの」から「繋がり、広げるもの」として捉え直そうとするものです。「ボーダーライン コレクション展Ⅰ」では、私たちにとって一番身近な身体を基本に据え、境界の存在を意識し、内と外関係を考察しました。「ボーダーライン コレクション展Ⅱ」ではそれを社会的な境界へと広げ、当館コレクション作品を展覧します。

本展では、8作家の表現を通して、自己と他者、自分が属する集団とそれ以外の集団、私的領域と公的領域、国境、民族、ジェンダーなど、人間の意識が作り出したさまざまな境界に時に立ち向かい、時に横断しながら、境界を介して外部と接することで自己という内部の領域を拡張していこうとする人間の可能性を探ります。

学芸員によるギャラリートーク

日時=1月11日(土)14:00～(40分程度)

集合場所=金沢21世紀美術館 レクチャーホール前 料金=無料(ただし、当日の本展観覧券が必要)



フィロソフィカル・ファッション3: ハッピー・ピープル ミントデザインズ - happy people

開催中～
2014年5月18日(日)

目まぐるしく移り変わる流行、それを支えるファストファッションの隆盛が顕著ないま、衣服の意味を問い直し、一貫したコンセプトでファッションを提案するクリエイターを紹介するシリーズ「フィロソフィカル・ファッション」。その第三弾として「mintdesigns(ミントデザインズ)」を取り上げます。

勝井北斗と八木奈央によるファッション・ブランド「ミントデザインズ」は、独自に開発するテキスタイルのユニークさを生かした衣服のデザインが注目されてきました。一方で、食器や家具、和菓子など、異業種とのコラボレーションにも積極的に取り組み、そのデザイン領域を拡大し続けています。衣服にとどまらず、日常生活の時間を豊かにするためのプロダクトデザインを目指す彼らの活動は、「流行」と同義ではない「ファッション」の可能性を提案しています。

本展は、「happy people」をテーマに、ミントデザインズの衣服を日常へ浸透させる実験です。東京と金沢で暮らす人々が、それぞれの日常空間のなかでミントデザインズに出会う、その瞬間を展示します。

1月のキッズスタジオ・プログラム



展覧会「魔法のhome」 —2013年度中学生まるびいアートスクール

2013年9月から11月にかけて金沢市内の美術部員の中学生たち約40名が椿昇さん&シロくま先生と一緒に5回のワークショップを行いました。キーワードは「魔法のhome」。自分にとってのホームって、どんなところ？一人一人が考えて、一緒に形にした様子をみなさんに紹介する展覧会です。ぜひご覧ください！

日時=1月4日(土)~13日(月・祝)※6日(月)は休場 10:00~18:00(13日は17:00まで)

会場=金沢21世紀美術館 キッズスタジオ

料金=入場無料 対象=どなたでも

監修=椿昇(現代美術家)、シロくま先生(デザイナー)

参加校=金沢市立鳴和中学校美術部、金沢市立高尾台中学校美術部、金沢市立清泉中学校美術部

主催=金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]

共催=金沢市中学校文化連盟

後援=金沢市教育委員会

スペシャル対談

「こたつで てつがく」~中学生と考える、生きるってなんだ？

中学生のステキな未来に必要なのは「哲学」だ!?

カッコいいオトナ3人組がコタツを囲んで語り明かします。(おやつ・飲み物持ち込みOK)

日時=1月13日(月・祝) 14:00~15:30(開場13:45)

会場=シアター21

出演=椿昇(現代アーティスト)×シロくま先生(デザイナー)×廣瀬純(哲学者)

料金=無料 定員=100名



ハンズオン・まるびい！

子どもも大人もいっしょに楽しめるスペースです。
いろいろな造形遊びで、工夫と発見を楽しもう！

プレイルーム

日時=1月18日(土)、19日(日)、25日(土)、26日(日)

13:00~16:00(自由入場)

場所=キッズスタジオ

対象=子どもから大人まで(小さなお子さんは保護者同伴) 料金=無料

(下はプログラムの例です。内容は日によって変わります。)

かたちで遊ぼう！

積み木やボタンや毛糸やいろいろ、つんだりならべたりしよう。



親子向け情報・休憩スペース 「まるびい・すくすくステーション」

小さいお子様連れの方をサポートするスペースです。お子様と一緒に美術館で見て・感じて・楽しむ時間をお手伝いできるように、館内のおすすめスポットやプログラム、託児室などの情報をご用意しています。一休みするスポットやお散歩の寄り道としても、ぜひご利用ください。

開催日=1月21日(火)~3月20日(木)の毎週火・木 10:00~12:30(自由入場)

会場=キッズスタジオ 対象=未就学児とその保護者 料金=無料

プレスリリース 12月27日配信号

1月の休館日

1日(水) / 6日(月) / 14日(火) / 20日(月) /
27日(月)

年末年始の完全閉館期間

12月29日(日) ~ 2014年1月1日(水)

年始の臨時開館日

1月2日(木) / 3日(金)

開館時間 9:00~18:00

各展覧会の開場時間 10:00~17:00(チケットの販売及びご入場は開場の30分前まで)

カフェレストラン「フュージョン21」およびミュージアムショップ1、2の営業時間 10:00~17:30

なお、キッズスタジオ、託児室、アートライブラリー、茶室、市民ギャラリー、シアター21、プロジェクト工房は閉場します。

※金沢21世紀美術館 友の会の受付時間 10:00~17:00

本資料に関するお問い合わせ

金沢21世紀美術館

広報担当: 落合、中山

〒920-8509 金沢市広坂1-2-1

TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802

<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp

※展覧会・イベントの開催時期や内容等は変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。